平成27年川俣町議会第13回定例会会議録

平成27年川俣町議会第13回定例会は、12月16日川俣町役場議場に招集された。

1. 出席議員は、次のとおりである。

1番 高橋清美君	2番 高橋道弘君	3番 高橋真一郎君
4番 高橋道也君	5番 菅野意美子君	6番 新関善三君
7番 黒沢敏雄君	8番 佐藤喜三郎君	9番 石河清君
10番 遠藤宗弘君	11番 菅野清一君	12番 斎藤博美君

2. 欠席議員は、次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者は、次のとおりである。

町長職務代理者	伊藤智樹君	総務課長	佐藤広一君
企画財政課長	佐藤真寿夫君	町民税務課長	羽賀洋一君
会計管理者	高野誠市君	保健福祉課長	丹野雅直君
建設水道課長	斎藤和弘君	原子力災害対策課長	宮地勝志君
産業課長	寺島喜美夫君	教育委員長	佐藤捷善君
教育長	神田紀君	教育次長	佐藤修一君
生涯学習課長	増賀喜芳君	監査委員	斎藤庸夫君

4. 職務のため欠席した者は、次のとおりである。

議会事務局長 大内 彰 書記長 岡 健一

5. 会議事件は、次のとおりである。

会議録署名議員の指名

請願・陳情の審査結果報告

付託議案の審査結果報告

議案第104号 川俣町個人番号の利用に関する条例（質疑・討論・採決）

議案第105号 川俣町税条例等の一部を改正する条例（質疑・討論・採決）

議案第106号 川俣町手数料条例の一部を改正する条例（討論・採決）

議案第107号 川俣町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
（討論・採決）

議案第108号 川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例（討論・採決）

議案第109号 福島市・川俣町学校給食センター協議会規約の変更について
（質疑・討論・採決）

- 議案第 1 1 0 号 訴えの提起について（質疑・討論・採決）
議案第 1 1 1 号 平成 2 7 年度川俣町一般会計補正予算（第 6 号）（討論・採決）
議案第 1 1 2 号 平成 2 7 年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
（討論・採決）
議案第 1 1 3 号 平成 2 7 年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）
（討論・採決）

（追加日程）

- 発議第 1 3 号 「共通番号制（マイナンバー）」法の中止を求める意見書
発議第 1 4 号 公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書
議報告第 1 0 号 議員研修会の報告について
閉会中の継続調査申出書について

◎開議の宣告

○議長（斎藤博美君） ただいまの出席議員は、12人です。定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。（午後13時40分）

◇ ◇ ◇

○議長（斎藤博美君） 日程第1，会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により、議長において、9番議員 石河清君、10番議員 遠藤宗弘君を指名いたします。

◇ ◇ ◇

○議長（斎藤博美君） 日程第2，請願・陳情の審査結果について、報告を行います。

初めに、総務産業常任委員長、報告願います。

総務産業常任委員長。

○総務産業常任委員長（高橋真一郎君） 総務産業常任委員会の請願の審査結果を報告いたします。

請願の審査結果

本委員会に付託された請願は、12月15日審査の結果、次のとおり決定したので、川俣町議会会議規則第94条第1項の規定により報告する。

記

番号	件名	審査結果	意見
7	法定外道路の町道認定に関する請願書	採択	
8	川俣町字竹ノ内線排水路側溝改良請願書	採択	
9	小島八幡前地区生活道の町道認定と改良についての請願書	採択	

続きまして、陳情の審査結果を報告いたします。

陳情の審査結果

本委員会に付託された陳情は、12月15日審査の結果、次のとおり決定したので、川俣町議会会議規則第94条第1項の規定により報告する。

記

番号	件名	審査結果	意見
6	9月10日の集中豪雨に伴う災害についての陳情書	採択	

以上でございます。

◇ ◇ ◇

○議長（斎藤博美君） 請願第7号「法定外道路の町道認定に関する請願書」を採決いたします。

この請願に対する総務産業常任委員長の報告は、採択です。
本案について、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 異議なしと認めます。

よって、請願第7号は、委員長報告のとおり採択とすることに決定いたしました。

◇ ◇ ◇

○議長(斎藤博美君) 請願第8号「川俣町字竹ノ内線排水路側溝改良請願書」を採決いたします。

この請願に対する総務産業常任委員長の報告は、採択です。
本案について、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 異議なしと認めます。

よって、請願第8号は、委員長報告のとおり採択とすることに決定いたしました。

◇ ◇ ◇

○議長(斎藤博美君) 請願第9号「小島八幡前地区生活道の町道認定と改良についての請願書」を採決いたします。

この陳情に対する産業建設常任委員長の報告は、採択です。
本案について、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 異議なしと認めます。

よって、請願第9号は、委員長報告のとおり採択とすることに決定いたしました。

◇ ◇ ◇

○議長(斎藤博美君) 陳情第6号「9月10日の集中豪雨に伴う災害についての陳情書」を採決いたします。

この陳情に対する総務産業常任委員長の報告は、採択です。
本案について、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 異議なしと認めます。

よって、陳情第6号は、委員長報告のとおり採択とすることに決定いたしました。

◇ ◇ ◇

○議長(斎藤博美君) 次に、厚生文教常任委員長、報告願います。

厚生文教常任委員長。

○厚生文教常任委員長(高橋道也君) 厚生文教常任委員長の高橋です。陳情の審査結果について報告します。

陳情の審査結果

本委員会に付託された陳情は、12月15日審査の結果、次のとおり決定したので、川俣町議会会議規則第94条第1項の規定により報告する。

記

番号	件名	審査結果	意見
7	公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情書	採択	意見書提出

以上であります。

○議長（斎藤博美君） 陳情第7号「公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情書」を採決いたします。

この陳情に対する厚生文教常任委員長の報告は、採択です。

本案について、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって、陳情第7号は、委員長報告のとおり採択とすることに決定いたしました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 日程第3，付託議案の審査結果報告を行います。

議案第106号から議案第108号までの各一般議案及び、議案第111号から議案第113号までの、平成27年度各会計補正予算の審査結果について報告を求めます。

最初に総務産業常任委員長、報告願います。総務産業常任委員長。

○総務産業常任委員長（高橋真一郎君） 総務産業常任委員長、高橋でございます。

本委員会に付託されました委員会の審査報告をいたします。

本委員会に付託された事件は、12月10日審査の結果、次のとおり決定したので、川俣町議会会議規則第77条の規定により報告します。

記

番号	件名	審査結果
議案第108号	川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例	可決

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 次に厚生文教常任委員長報告願います。厚生文教常任委員長。

○厚生文教常任委員長（高橋道也君） 厚生文教常任委員長の高橋です。

本委員会に付託された審査結果について報告します。

本委員会に付託された事件は、12月15日審査の結果、次のとおり決定したので、川俣町議会会議規則第77条の規定により報告します。

記

番号	件名	審査結果
議案第106号	川俣町手数料条例の一部を改正する条例	可決
議案第107号	川俣町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決

以上です。

◇ ◇ ◇
○議長（斎藤博美君） 最後に予算常任委員長報告願います。予算常任委員長。

○予算常任委員長（新関善三君） 予算常任委員長の新関善三です。

委員会審査報告をいたします。

本委員会に付託された事件は、12月10日審査の結果、次のとおり決定したので、川俣町議会会議規則第77条の規定により報告いたします。

記

番号	件名	審査結果
議案第111号	平成27年度川俣町一般会計補正予算（第6号）	可決
議案第112号	平成27年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第113号	平成27年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決

以上、報告といたします。

◇ ◇ ◇
○議長（斎藤博美君） 日程第4，議案第104号「川俣町個人番号の利用に関する条例」を議題といたします。

これから本案について質疑に入ります。質疑ありませんか。

10番 遠藤宗弘君。

○10番（遠藤宗弘君） この川俣町個人番号の利用に関する条例なんですが、まず町当局にお聞きしたいのは、本当にこの個人カードを活用して、個人のプライバシーや何かをきちんと守る体制ができるのかどうか、その辺について。一つは今までの流れを踏まえた上で私はお尋ねしたいと思うんですが。

○議長（斎藤博美君） 総務課長。

○総務課長（佐藤広一君） 質問にお答え申し上げます。

この番号法については、もともと国の法律であります。その法律の中には、個人情報については、厳粛に取り扱う。また、その個人情報の取り扱いについて、本委員会をつくって、情報流出とか、そういったようなところがあれば、厳正に委員会で判断をするというような形になっております。

今回、町のほうで川俣町個人番号の利用に関する条例についても、第3条で町の責務ということで、うたっております。その中でも、町のほうでは、個人情報については、かなりこの厳粛に扱うということで、今、新たな規則なりをつくって、制定をして厳粛に取り扱いのことを決めていきたいと思っております。1月1日に施行できるように今、規則の準備をしているところでございますので、趣旨をご理解いただきたいと思っております。

以上、答弁としていきたいと思っております。

○議長（斎藤博美君） 10番 遠藤宗弘君。

○10番（遠藤宗弘君） 担当課長が厳粛に守れるんだというふうなことをおっしゃっているんですが、実際には実態を見ると、例えば、災害復旧事業補助金の取り扱い一つ

を見ても、これは要綱を全然守らないで、一部の職員が勝手に通帳のコピーを提出させたり、それを総務委員会の中できちんと指摘されると、今度は庁議に諮って、それはそういうことをやらないように徹底しますという庁議を行っているにもかかわらず、産業委員会の中からは相変わらず、通帳のコピーの提出を求めるとか。

さらにその後改めて、この周知を図るために庁議を開催したといっても、その後、発行している町の広報なんかはまた通帳のコピーを持ってこいみたいなことを町民に図っているわけでしょ。

そしたらば、本当に法令を順守するという体制に町はないんじゃないかと、私は判断せざるを得ないんですよ。少なくとも庁議というのは、町の最高の決議機関なんでしょう。そこで2回も議論をしたと言っているんですよ。それでも、相も変わらず町民に対しては、この要綱にもない書類の提出を求めるがごとく広報を出すと。こういうことをやりながら、個人の情報を本当に守れるという保証はあるんですか。幾ら厳しい規定や何かつくったとしても、守られていないじゃないですか。現にやっていることが守られていないから、私はこういう職場で個人情報を取り扱うなんかいうことはやるべきじゃないんだというふうに考えているんですが、どうお考えですか。

○議長（斎藤博美君） 町長職務代理人。

○町長職務代理人（伊藤智樹君） ご答弁を申し上げます。

災害の関係・関連で、要綱に基づかない資料の提出を求めていたこと、また、それを求めないようにするというところで、庁内に周知したのでありますが、それが徹底されていなかったこと、本当に申しわけなく思っております。深く反省をしております。申しわけありませんでした。

この事実を踏まえまして、町ではこの個人番号の利用につきましては、職員に対して、改めて番号法、そして個人情報保護条例の法令順守徹底に向けました教育研修を行うとともに、規定等を改めて整備いたしまして、特定の個人情報を取り扱う権限を有する職員を限定するなど、より一層、適正な情報の取り扱い、しっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

以上答弁といたします。

○議長（斎藤博美君） 10番 遠藤宗弘君。

○10番（遠藤宗弘君） 10番、遠藤です。

結局、個人情報の保護や何かの責任体制をはっきりさせるんだといっても、1番の責任を持つ部署というのは、今の段階で言えば、町長の職務代理人、総務課長ということになるんだと思うんですね。これ以上の責任を持つ人は、この庁舎の中にはおられないんだと思うんですよ。

ところが、その部署から守られていないということになったら、どういうふうになるんですか。どんな立派な規定や何かつくったとしたって、守られないっていうのは明確じゃないですか。顛末書まで出しておいてですよ。町の広報でまた、その後にこんな通帳のコピーだとか何か出てくる。これを抑えるのは誰なんですか。県知事にでも頼むんですか。そんな体制のまま個人情報を勝手にいじくられたら困るとい

うのは、町民として当然の主張ではないですか。だから、やめるべきですよ。それを管理する能力がないわけですから、率直に言って。何回も同じこと指摘されても、それが是正されないという。この体制を改めるまでは、ここで言っているのは、町営住宅の入居の際に、それぞれの所得や何かを勝手に個人情報でつかめるから、これは必要ないというようなことでやろうとしているんだ。こんなものつかまれたら困りますよ、こんなルーズな組織の中で。だから、私はやめるべきだと思います。

○議長（斎藤博美君） 町長職務代理者。

○町長職務代理者（伊藤智樹君） ご答弁を申し上げます。

議員のおっしゃることはもっともだと思いますが、踏まえまして、先ほど答弁いたしました。要綱に基づかない資料の提出を求めた、そのことについて庁内徹底が図れなかった。こういった事実をしっかりと踏まえまして、改めて番号法、それから個人情報保護条例の法令順守の徹底に向けた教育研修をしっかりと行いまして、また改めて規定等を整備いたしまして、特定個人情報を扱う権限を持つ職員を限定するなど、しっかりと対応、対策を立てて取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

以上、答弁といたします。

○議長（斎藤博美君） 2番 高橋道弘君。

○2番（高橋道弘君） この条例案の第3条には、町は個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関し、その適正な取り扱いを加工するために必要な措置を講ずると言っているわけですね。

この別表第2を見ると、住宅関係ではあるんですけども、どういった特定個人情報をもらうのかということ、地方税関係書類と生活保護関係ということで、大変重要な個人情報が、部局外というか、建設課のほうにいくわけでしょうけど、川俣では。

本当の個人情報関係が、本来の生活保護の書類が、そちらのほうにも全部情報として行くということですよ。ですから、その管理のありようについては非常に重要だと思うんですよ。私もこの間、総務産業常任委員会において、たびたびこの宅地関連等の災害の取り扱いについては問題点を指摘したわけでありまして、今般の12月15日発行の宅地関連ね、2ページと3ページに載っているわけですが。不要なものは要求しないとこれまで言ってきたんです。要綱要領に書かってないことは、要求しないってきたの。

ところが、いいですか。この2ページを見ますと、今回の9月10日のがな、ご用意いただくもの、4番。修繕費等の見積書または請求書、領収書、通帳。さらに3ページのほうも、申請時に必要なもの。修繕前と修繕後の写真、修繕費用の請求書、領収書、通帳、とこう書かっている。

だからコピーを取っておくという話ではないですよ、今度は。通帳を持ってこないとだめだと書いてある。一連の取り扱いの問題点が発覚されて、全部周知しました、2回周知徹底した後に出した12月15日号には、通帳が申請時の必要書類になっているわけですよ。それさえも多分気がつかないでやっているんだと思うんですけど、

そういった状況の中で、どのような規則をつくって、川俣町がですよ。特定個人情報を管理なさろうとしているんだか、どんな規則の中で管理をしていくんだか。それをぜひ示してもらわないと、安心して、これはいい、悪いと言えないので、どういう管理規則をつくるのか、それをぜひご提示いただきたいと思います。

○議長（斎藤博美君） 総務課長。

○総務課長（佐藤広一君） 質問にお答え申し上げます。先ほど遠藤議員にお答えしたとおり、新たな規則を設けて、特定情報についての保護をしていくということで、前回12月4日の総務産業常任委員会の際に示したような内容で、町のほうは規則を制定する考えでいるところでございます。

どういった視点で保護していくんだというのは、やはり特定情報でありますので、厳格に出所なり、利用者の制限なり、いろいろ規定の中に盛り込んでいるところでございますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○議長（斎藤博美君） 2番 高橋道弘君。

○2番（高橋道弘君） それは、この問題が発覚する以前の規則なの。この規則、私、たしか総務産業常任委員会でもらったけど、ありきたりな規則なんですよ。だけど、ありきたりの規則では、うちの町は法制してもできないわけだ、今。だって、責任の所在がこの規則を読んでも明らかでないですよ、責任の所在が。誰が責任持つのかというのがないですよ。

だから、それは一連の宅地関連等にかかわる取り扱いの中で、何回指摘しても同じことやってきて、さらには最後は悪くなった。必要書類になってしまったわけだから、通帳を持ってくるのがね。よくなったんじゃないですよ、悪くなってきたの、どんどんどんどん。コピーの話だから、コピーのことばかりみんな考えていて、肝心の本書を持って来いと言ってるわけ。通帳を持って来ないとだめだと書いているんだからね、今度から。

だから、そういったことが起こってくる事実があるわけだから、実際に起こっているわけだから。それを管理しているのは総務課でもあるにもかかわらず、その総務課さんがやっているわけだ。この条例の所管課も総務課さんなんだ。だから現にある規則要綱を守らないで、指摘するともっと悪くなっていくという、そういう課において、特定個人情報をきちっと守っていくんだと言うんだけど、今までの規則では守れないということは明らかじゃないですか。だから、どんな規則をつくるんだか、ちゃんと明示してくださいということを言っています。

一番はやっぱり責任の所在ですよ。誰が監理して、問題が起こったときは誰が責任を取るのか。それがしっかりしないと、一概に利便性が向上するからいいべって賛成はできないので、ぜひ賛成できるように明確な答弁をお願いしたい。規則を示していただきたい。

○議長（斎藤博美君） 総務課長。

○総務課長（佐藤広一君） 質問にお答え申し上げます。

新たに規則を制定するわけでございます。責任の所在については、明確に所在の

規定を設けまして、やっていきたいと。

あと、不要な個人情報を収集しないような規定についても設けていきたいと思っておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

以上答弁とさせていただきますと思います。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 暫時休議します。 （午後 2時09分）

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 再開します。 （午後 2時19分）

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 総務課長。

○総務課長（佐藤広一君） 質問にお答え申し上げます。

今規定を準備しております、川俣町が取り扱う個人情報、個人番号及び特定個人情報の管理に関する規定ということで、規定をつくっておるところでございます。

その中には、総括保護責任者は副町長が当たる。これは総括で最高責任者です。あと総括保護管理者が総務課長というようなことで、この保護の責任と管理についてうたっておるところでございます。

あともう一つ、特定個人情報の余分な提供を求めることではありますが、それについては特定個人情報の提供の求めの制限ということで、新たな個人情報の収集はしないというような規定も設けておりますので、今後素案が決まれば、皆さんのほうにご提示をしながら、議論を深めていただければと思っております。

なお、1月1日には、この規定について制定する予定でありますので、ご理解をいただきたいと思っております。

以上、答弁とさせていただきますと思います。

○議長（斎藤博美君） 2番 高橋道弘君。

○2番（高橋道弘君） 私も別にこの条例そのものがうんと悪いとか、話にならないとかって思っているものではないんですよ。ただ、現実には起こっている川俣町の個人情報の取り扱いの有り様が、この12月4日から今日まで約10日以上過ぎているわけがありますけど、どんどん悪くなっていくわけね。問題点を指摘すれば、よくなっていくんじゃないんですよ。周知徹底して、守られるようになりましたというならわかるんですけど、どんどんどんどん悪くなってって必要添付書類になっちゃったわけだよ、通帳がね、住民の人たちには。

そのことを川俣町という、災害対策法で川俣町が発行している、全町にきのう配ったわけだよ、悪くなったものをさらにね。それはもちろん総務課で出しているんですよ、監修しているんでしょう、総務課で。それをチェックする能力がないわけだよ、川俣町の場合。

だから、今総務課長いろいろおっしゃいましたけど、総括責任者を置く、実質責任者は総務課長がやります、情報提供をもらうときには制限しますとか言っているんだけど、今ある職制機能とかいろんな制度の仕組みが、機能してないじゃないですか。

機能していない中で、こういった新しい特定個人情報をもたまたま使いますよという形にするということについて、私は危惧を抱いているだけなの。

だから賛成できるように、何でチェック機能がないのか。例えばこれ、総務課で出しているんだから、多分、消防交通あたりが原稿を書いているわけでしょう。だったら、それを課長補佐が見るわけでしょう。その次に課長が見るわけでしょう。あるいは、同じように産業課さんもやっているんだから、産業課さんとも合議をしながら、これでいいよねと、議会から指摘された問題点はこういうことだからクリアしていますよねというふうにして、私は出るものだと思うんですよ。そういった機能がなんで働いてないのか、きちっと捉まえているんですか、職務代理者。そこを捉まえてなければ、なんぼ仕組みをつくたって、機構をつくたって、要綱をつくたって、条例をつくたって、守れないじゃないですか。何でそんなに機能していないというふうにご考へておられますか。どこをどういうふうにご改善したいと思うんですか。新しく制度をつくたって、これがちゃんとしなかったら絶対だめなわけですから。どこに致命的欠陥があるんですか、そういったことが機能しないという。

○議長（斎藤博美君） 町長職務代理者。

○町長職務代理者（伊藤智樹君） ご答弁を申し上げます。

要綱に基づかない資料を求めていたこと、今回それが明らかになりまして、そういったものをやめるということを周知いたしました。それが徹底されていなかったこと、本当に大変申しわけなく思っております。深く反省をしております。今後であります。これは本当に何度も何度も周知徹底をして、漏れないようにやっていくことだなどと考えております。

こういった私どもの事実を踏まえまして、個人番号の利用については、先ほど総務課長が答弁いたしました。規定等を整備するとともに、法令順守に向けた研修、それから教育、これをしっかりとやりまして、法令順守に基づいた特定個人情報取り扱いに向けて、取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

以上、答弁いたします。

○議長（斎藤博美君） 総務課長。

○総務課長（佐藤広一君） 議員お質しのよう、どこに原因があるのかということですが、やはり人間の目で確認はしているところではありますが、確認が漏れているところがあったということで、ご理解をいただきたいと思っております。

○議長（斎藤博美君） 質疑ありませんか。

（「質疑なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

10番 遠藤宗弘君。

○10番（遠藤宗弘君） 10番、遠藤です。

今の質疑の中でも、今後、そういうものがきちんと管理できるということは、全然

私は理解できないんですね。ただ、人間がやることだから、目で見たら気がつかなかったからこうなったと。これでは、住民の皆さんの個人のプライバシーを守るということにはならないと思うんですね。これ本当に、わずか10日間ぐらいの間の出来事を見ても、こういう実態ですからね。それを今後ずっと、もっともっと数多く出てくるであろうマイナンバーを管理する体制は全然できてないわけですから、ここでこういう条例をつくって、個人の所得や何かを全部管理するということは、到底できないだろうと私は思うんですよ。そういうところにこのような条例を差し込んで、個人番号制を活用しようというのは、まだまだ無理があるなと思いますので、この条例には反対せざるを得ないと思います。

○議長（斎藤博美君） 賛成の討論ありますか。

6番 新関善三君。

○6番（新関善三君） マイナンバー制度のこと等につきましては、一般質問の中でもいろいろと危惧されることは発生してございますけれども、そのこと等については、まず払拭できるものというふうに回答いただいております。

そういった中でも、法律が制定されたということと、もう一つが法に基づいて、町自体の責務もそれと同時に発生しているということは、町の責務等につきましては、第3条に的確にうたわれているわけございまして、なおかつ、第5条におきましては、個人番号は、個人識別性が高いため、通常の個人情報よりも、さらに厳格な管理を必要とします。本条例は、特定個人情報の適正な取り扱いの重要性に鑑み、川俣町の責務として適正な取り扱いに必要な措置を講ずる義務が発生したわけございまして、こういった義務を当然明確に、まだ担当部署も責任者も明確にはうたってございせんけれども、早急に確立するということを前提に、私は本案に賛成をいたします。

○議長（斎藤博美君） 2番 高橋道弘君。

○2番（高橋道弘君） 私はもともと賛成しようと思っていたんですけれども、ただいまの質疑を通して、反対せざるを得ないなと思います。

なぜならば、個人番号そのものを国会での討議もそうありますが、本来は社会保障に使うということで、この番号制度は始まったわけなんですよ。しかし、国においてさえ、年金とかそういったものに使うということは、国の管理能力に非常に危惧があるということで、当面、当初目的とした社会保障のほうには使わないで、税のほうだとか、そういったほうにとりあえず使うというふうに決まった経緯もあるわけがあります。

ですから、この番号制度がいいのか悪いのかということの前に、個人番号をきっちり監理できるのかどうなのかというのが、国会でも大きな議論になったはずなんですね。

そういった中で今、町当局の答弁を聞いておりますと、今の執行体制というのかな、執務体制というのかな、そういった中で、多くの個人のプライバシーを含む特定個人情報をしっかりと監理できるというふうには、今の答弁では、私は自信を持って町民

の皆様、今の町当局なら大丈夫だよと、利活用すべきだというふうに私は町民の皆様には言えませんので、私は残念ながら反対せざるを得ないということで討論をいたします。

○議長（斎藤博美君） 賛成討論ありませんか。
（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。
これから議案第104号を採決いたします。
この採決は、起立によって行います。本案を原案のとおり、決することに賛成の方は起立を願います。

（賛成者起立）

○議長（斎藤博美君） 結構です。起立6人、不起立5人。
起立多数によって、本案は原案のとおり可決されました。

◇ ◇ ◇

○議長（斎藤博美君） 日程第5，議案第105号「川俣町税条例等の一部を改正する条例」を議題といたします。
これから本案について質疑に入ります。質疑ありませんか。
（「質疑なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） これで質疑を終わります。
これから討論を行います。討論ありませんか。
（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。
これから議案第105号を採決いたします。
本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。
（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。
よって本案は原案のとおり可決されました。

◇ ◇ ◇

○議長（斎藤博美君） 日程第6，議案第106号「川俣町手数料条例の一部を改正する条例」を議題といたします。
これから討論を行います。討論ありませんか。
（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。
本案に対する厚生文教常任委員長の報告は可決です。
本案を委員長報告のとおり可決することにご異議ありませんか。
（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。
よって本案は、委員長報告のとおり可決されました。

◇ ◇ ◇

○議長（斎藤博美君） 日程第7，議案第107号「川俣町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」を議題といたします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。

本案に対する厚生文教常任委員長の報告は可決です。

本案を委員長報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって本案は、委員長報告のとおり可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 日程第8，議案第108号「川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例」を議題といたします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。

本案に対する総務産業常任委員長の報告は可決です。

本案を委員長報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって本案は、委員長報告のとおり可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 日程第9，議案第109号「福島市・川俣町学校給食センター協議会規約の変更について」を議題といたします。

これから本案について質疑に入ります。質疑ありませんか。

（「質疑なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。

これから議案第109号を採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって本案は、原案のとおり可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 日程第10，議案第110号「訴えの提起について」を議題といたします。

これから本案について質疑に入ります。質疑ありませんか。

(「質疑なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

(「討論なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 討論なしと認めます。

これから議案第110号を採決いたします。

本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 異議なしと認めます。

よって本案は原案のとおり、可決されました。

◇

◇

◇

○議長(斎藤博美君) 日程第11, 議案第111号「平成27年度川俣町一般会計補正予算(第6号)」を議題といたします。

総務課長。

○総務課長(佐藤広一) 先日の質疑の中で、役場新庁舎の用地交渉について、状況報告をしろということと言われておりましたので、この場をかりて報告をさせていただきたいと思っております。

9月議会以降、どんな交渉経過があるのかというところでございますが、担当のほうから聞いた際、9月と10月に訪問はしたんですが、主に今の工事の関係で訪問したというところがございます。

あと12月初旬に、一部の地権者が町長のほうに訪問をしております。町長のほうに補償額を上げていただきたいというような要請があったんですが、町長のほうからは鑑定額以上には出せない。ただ所得税については、上乘せ措置は考えているということで、改めて早急に用地交渉に入るよう指示を受けたところがございます。

今、税額相当分についての上乗せについて、検討しておりますので、私のほうも議会が終わりましたら、早々と用地交渉のほうに入っていきたいと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思っております。

以上、報告とさせていただきたいと思っております。

○議長(斎藤博美君) これから討論を行います。討論ありませんか。

(「討論なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 討論なしと認めます。

本案に対する予算常任委員長の報告は、可決です。

本案を委員長報告のとおり、可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(斎藤博美君) 異議なしと認めます。

よって本案は委員長報告のとおり、可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 日程第12，議案第112号「平成27年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）」を議題といたします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。

本案に対する予算常任委員長の報告は可決です。

本案を委員長報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって本案は委員長報告のとおり、可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 日程第13，議案第113号「平成27年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第2号）」を議題といたします。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。

本案に対する予算常任委員長の報告は可決です。

本案を委員長報告のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって本案は委員長報告のとおり、可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） ここで休憩します。再開は2時55分。（午後2時39分）

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 再開します。（午後2時55分）

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） ここで議事日程の追加について、お諮りいたします。

発議2件、議報告1件、その他1件を本日の日程に追加し議題にしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

したがって、発議2件、議報告1件、その他1件を本日の日程に追加することに決定いたしました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） ここで3時20分まで休憩します。（午後2時56分）

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 再開します。（午後3時20分）

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君）　ここで総務課長から発言を求められておりますので、これを許します。

総務課長。

○総務課長（佐藤広一君）　発言の訂正をお願いしたいと思います。

先の新庁舎用地交渉の状況の報告の際、補償額について鑑定以上額には出せないが、所得税について上乗せする措置は考えていく。税額相当分の上乗せ分について検討していくという発言をしましたが、補償額は鑑定額を踏まえつつ、補償額の見直しをして、交渉をしていくというふうに訂正をお願いしたいと思います。大変失礼しました。

○議長（斎藤博美君）　ただいま総務課長から本日の発言について、訂正の申し出がありました。お諮りいたします。

これを許可することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君）　異議なしと認めます。

したがって、総務課長からの発言訂正の申し出を許可することに決定いたしました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君）　追加日程第1，発議第13号「共通番号制（マイナンバー）」法の中止を求める意見書を議題といたします。

議会事務局長。

○議会事務局長（大内　彰君）　別紙発議書を朗読した。

○議長（斎藤博美君）　提出者の説明を求めます。

高橋真一郎君。

○3番（高橋真一郎君）　3番　高橋真一郎でございます。

朗読をもって、説明にかえさせていただきます

「共通番号制（マイナンバー）」法の中止を求める意見書

すべての国民に番号をつけ、税や社会保障の情報を国が一括管理する共通番号制度（マイナンバー制度）が10月から国民へ通知され、平成28年1月からは一部運用が開始されようとしています。

そして政府において、銀行口座や健診結果などにも対象を広げるための法改正が審議中であり、安倍首相は「産業競争力会議」で医療分野への利用を拡大、民間分野での利用の加速化などを指示するなど、さらに拡大されようとしています。

しかし、このマイナンバー制度へは、いま多くの国民から急速に不安と批判の声が広がり続けています。

それは、第1に「年金機構」において大量の個人情報流出が起こり、マイナンバー制度でも同様の情報流出が起こらない保証がないことでもあります。マイナンバー制度のように、より多くの情報が集積されれば、サイバー攻撃などのリスクも高まり、もしも流出すれば、国民に甚大な被害をもたらすことは明らかです。

第2に、マイナンバー制度では、従業員の給与から税や社会保障の天引きを行うすべての事業所で個人番号を使うことが義務づけられていることから、中小零細な事業

所では、システム変更や整備、情報管理の費用など多大な負担となります。

第3に、マイナンバー制度の目的は、「国民の利便性向上」ではなく、財界が「社会保障の歳出を減らすために」と求めてきたように、国が国民の所得・資産を効率的に掌握し、徴税を強化すると同時に、社会保障給付抑制へのチェック体制の強化を図るためのものであります。

以上のような問題点が明らかになってきているだけに、政府においては、マイナンバー制度に基づく1月からの運用は、中止されるよう強く求めるものです。

以上地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成27年12月16日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
財 務 大 臣 麻生太郎 様
総 務 大 臣 高市早苗 様
厚生労働大臣 塩崎恭久 様
内閣官房長官 菅 義偉 様

福島県伊達郡川俣町議会

以上です。

○議長（斎藤博美君） これより質疑に入ります。本案について質疑ありませんか。

（「質疑なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。

これから発議第13号を採決いたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 追加日程第2，発議第14号「公立小中学校の教職員の充実・確保を求める意見書」を議題といたします。

議会事務局長。

○議会事務局長（大内 彰君） 別紙発議書を朗読した。

○議長（斎藤博美君） 提出者の説明を求めます。

高橋道也君。

○4番（高橋道也君） 朗読をもって説明にかえさせていただきます。

公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書

福島県の学校教育は、地域社会の多様な変化に応じながら、一人ひとりの子どもへのきめ細やかな対応や、子どもたちが主体となるゆたかな学びの推進が求められてい

ます。

特に東日本大震災・原子力災害の発生以降、「新生ふくしま」をめざし、学校、保護者、地域そして子どもたちが、復興・再生に向け邁進しています。

10月26日に、財政制度等審議会は「現在の教職員環境を継続させながら、教職員定数を3万7千人減らせる」とする「教職員定数のベースライン（案）」を公表しました。

本案に対し、中央教育審議会は異例の緊急提言を行い「教職員定数の機械的な削減ではなく、多様な教育課題や地域ニーズに応じた確固たる教育活動を行うために必要な教職員数を戦略的に充実・確保すべきである」との見解を明らかにしました。

現在、公立小中学校では、授業だけでなく生活指導・進路指導など様々な個別指導を行い、その比重は増えています。また、特別な支援を必要とする子どもの増加など、学校現場が抱える課題は多様化しています。保護者からのきめ細やかな指導を求める要望も大きくなっています。今後も、子どもたち一人ひとりに対応した教育を推進し、保護者をはじめとする地域住民からのニーズに応えるためにも、教職員数の充実・確保を図ることが必要です。

よって、下記の事項の実現について、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

1. 子どもたちへのきめ細やかな指導を維持・向上させるために、公立小中学校の教職員数を充実・確保すること。

平成27年12月16日

内閣総理大臣 安倍晋三 様

文部科学大臣 馳 浩 様

財 務 大 臣 麻生太郎 様

福島県伊達郡川俣町議会

以上です。

○議長（斎藤博美君） これより質疑に入ります。本案について質疑ありませんか。

（「質疑なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「討論なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 討論なしと認めます。

これから発議第14号を採決いたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 追加日程第3，議報告第10号「議員研修会の報告について」報

告を受けます。

局長。

○議会事務局長（大内 彰君） 別紙報告書を朗読した。

○議長（斎藤博美君） 総務産業常任委員会委員長、報告願います。

高橋真一郎君。

○3番（高橋真一郎君） 福島県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会の報告をいたします。

このことについて、下記のとおり議員研修会に出席したので報告する。

平成27年12月16日

川俣町議会議長 斎藤博美

記

1. 目的 人口減少社会の自治体議会の役割について

2. 場所 郡山市 ビックパレットふくしま

3. 日時 平成27年10月22日（木）

4. 出席議員 13名

5. 研修内容 以下記載のとおりであります。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 追加日程第4、「閉会中の継続調査申出書について」を議題といたします。

局長朗読。

○議会事務局長（大内 彰君） 別紙申出書を朗読した。

○議長（斎藤博美君） 総務産業、厚生文教、予算及び広報編集の各常任委員長及び議会運営委員長から各常任委員会等において、所管事務または所掌事務の調査について、会議規則第75条の規定によって、お手元に配りました申出書のとおり、閉会中継続調査の申し出がありました。

お諮りいたします。各常任委員長等からの申し出のとおり、閉会中継続調査をすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（斎藤博美君） 異議なしと認めます。

したがって、各常任委員長等から申し出のとおり、閉会中継続調査をすることに決定いたしました。

◇

◇

◇

○議長（斎藤博美君） 遠藤宗弘君。

○10番（遠藤宗弘君） 私は川俣町議会の伝統というか、慣習を守っていくために、川俣町議会委員会条例の一部を改正するための動議を提出したいと思いますので、取り計らいをお願いいたします。

○議長（斎藤博美君） ただいま遠藤宗弘君から、川俣町議会委員会条例の一部を改正する条例を議題とすることの動議が提出されました。

この動議に賛成される方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○議長(斎藤博美君) この動議は、ほかに1名以上の賛成者がありますので、成立いたしました。

川俣町議会委員会条例の一部を改正する条例の動議を本日の日程に追加し、追加日程5として、直ちに議題にすることを採決いたします。この採決は、起立によって行います。

この動議を本日の日程に追加し、追加日程第5、

○10番(遠藤宗弘君) 議長。動議の中身の説明をしないでは、何ともしようがないでしょ。

○議長(斎藤博美君) 一応諮って、その後に説明を受けるといような形になろうかと思うんですが。

この採決は、起立によって行います。

この動議を本日の日程に追加し、追加日程第5として、直ちに議題にすることに賛成の方は起立をお願いします。

(賛成者起立)

○議長(斎藤博美君) 起立少数です。したがって、この動議を本日の日程に追加し、追加日程第5として、直ちに議題にすることは否決されました。

◇

◇

◇

◎閉議及び閉会の宣告

○議長(斎藤博美君) 以上で本日の日程を終了いたしました。

これで本定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。

会期7日間にわたり慎重に審議いただき、まことにありがとうございました。心から御礼を申し上げます。

これをもちまして、平成27年第13回川俣町議会定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

(午後3時39分)

本定例会で決定した事件は、次のとおりである。

- 議報告第 9号 例月出納検査及び定期監査結果報告
- 報告第 12号 寄附採納報告
- 議案第104号 川俣町個人番号の利用に関する条例
- 議案第105号 川俣町税条例等の一部を改正する条例
- 議案第106号 川俣町手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第107号 川俣町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 議案第108号 川俣町営住宅条例の一部を改正する条例
- 議案第109号 福島市・川俣町学校給食センター協議会規約の変更について
- 議案第110号 訴えの提起について
- 議案第111号 平成27年度川俣町一般会計補正予算（第6号）
- 議案第112号 平成27年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第113号 平成27年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 選挙第 7号 選挙管理委員会委員・同補充員の選挙について
- 発議第13号 「共通番号制（マイナンバー）」法の中止を求める意見書
- 発議第14号 公立小中学校の教職員の充実・確保を求める意見書
- 議報告10号 議員研修会の報告について
閉会中の継続調査申出書について

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

川俣町議会 議長 齋藤博美

同 署名議員 石河清

同 署名議員